

第8次基本計画のふりかえり

基本構想の都市像

- 1 自律し優しさを共有する市民の都市
- 2 自然を生かす快適な生活の都市
- 3 海と歴史を抱いた文化の都市
- 4 活力あるアジアの拠点都市

基本計画の政策目標

- 政策目標1 子どもがたくましく生きる力、夢や希望を持って育つまちとなる
- 政策目標2 個性と創造性に富んだ多彩な人材が育つまちとなる
- 政策目標3 地域コミュニティを活性化し、住民自治・地域自治を推進する
- 政策目標4 支え合い助け合い、生き生きと暮らせる健康・福祉のまちとなる
- 政策目標5 災害に強く、安全で安心して暮らせるまちとなる
- 政策目標6 人権を尊重し、人の多様性を認め合うまちとなる
- 政策目標7 「楽・住・職」の融合した美しい都市となる
- 政策目標8 水・交通・住環境などの基盤を整備し、快適な生活環境を確保する
- 政策目標9 博多湾や背振山系などの自然を大切にし、緑彩る都市となる。
- 政策目標10 ライフスタイルを転換し、環境と共生する都市となる
- 政策目標11 福岡の魅力と環境を支える農林水産業を振興する
- 政策目標12 福岡の知性と感性を活かし、知識創造都市となる
- 政策目標13 起業・創業や企業立地を促進し、多様な雇用の場を創造する
- 政策目標14 おもてなしの心に満ちた国際集客文化都市となる
- 政策目標15 協力と競争を通じてアジアの交流拠点都市をめざす
- 政策目標16 福岡・九州とアジア・世界を結ぶゲートウェイを形成する
- 政策目標17 先進的モデル都市・アイランドシティを創造する
- 政策目標18 福岡都市圏や九州各地域との広域的連携を強化する

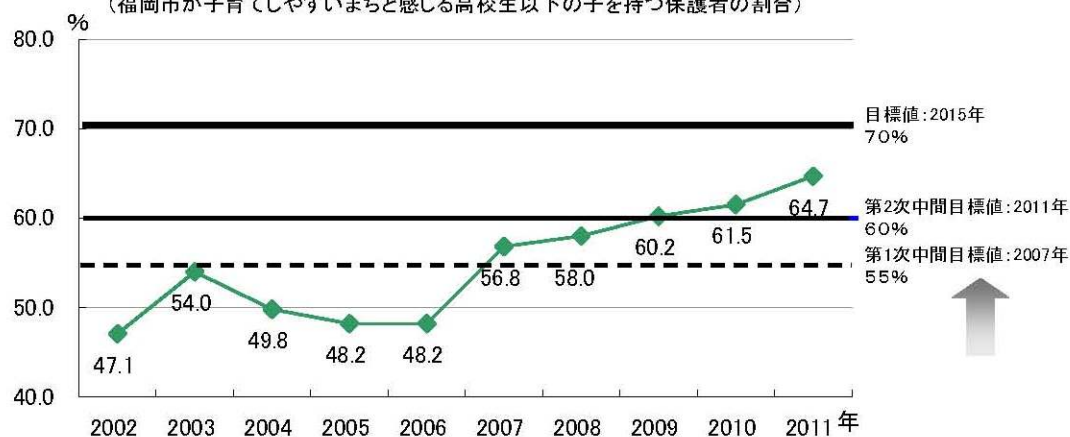
基本計画の振り返り

○政策目標 1 子どもがたくましく生きる力、夢や希望を持って育つまちとなる

子どもの権利を尊重する社会づくりや子育て支援に取り組み、子育て環境への満足度は上がったが、保育所入所の申し込みが多く、待機児童は増加している。また、確かな学力の向上にむけた取り組みを進めた。

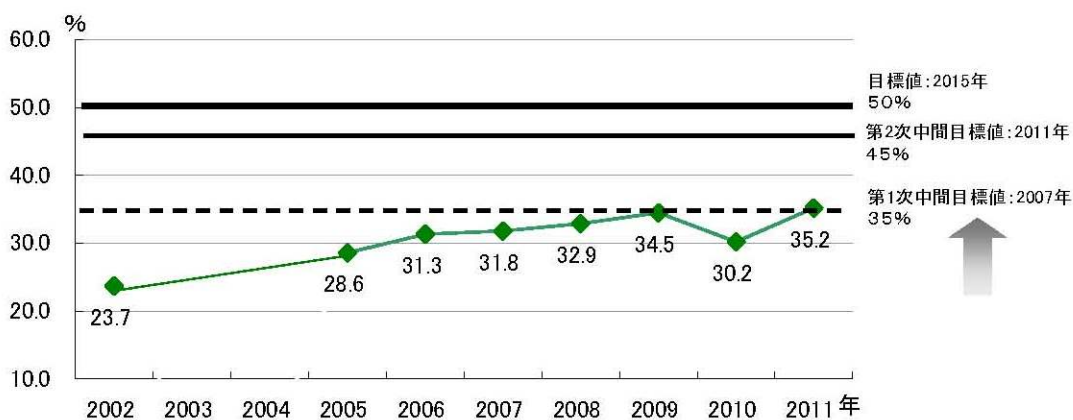
1 子育て環境満足度

(福岡市が子育てしやすいまちと感じる高校生以下の子を持つ保護者の割合)



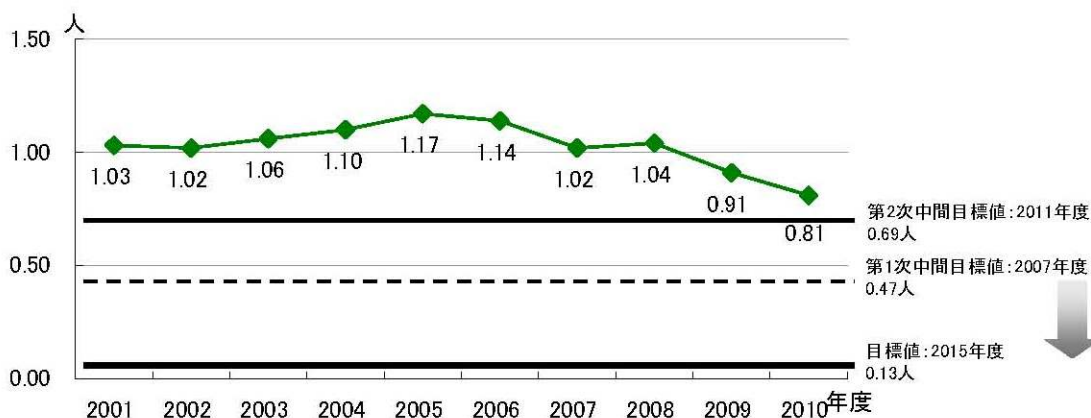
政策目標 1

2 ボランティア活動を行っている中学生の割合



政策目標 1

3 中学校における1学級あたりの不登校生徒数

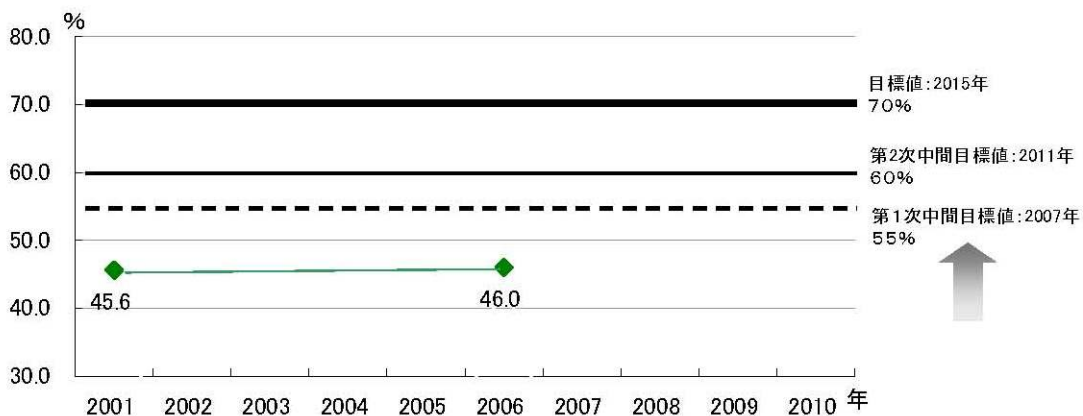


政策目標 1

4 地域と子どもの関わり度

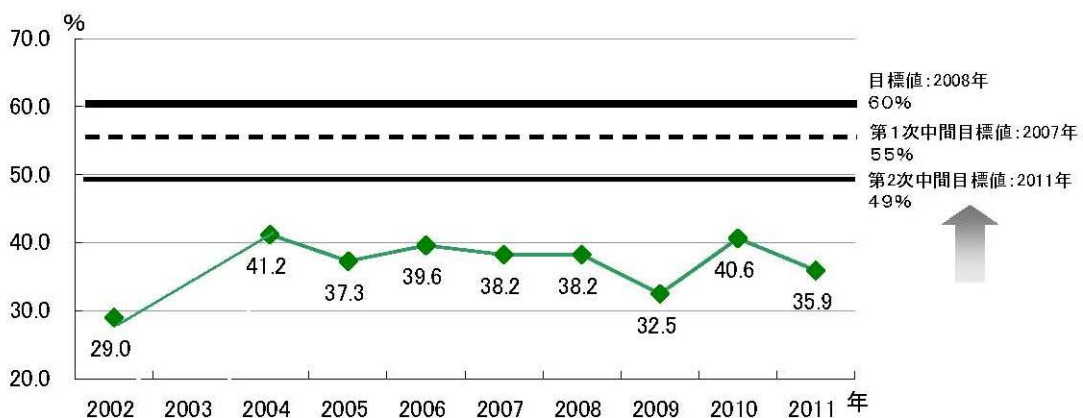
(近所に会えばあいさつする大人がたくさん
いると答える子ども＜小5・小6＞の割合)

政策目標 1



5 外国語で簡単な日常会話ができる自信がある生徒(中高生)の割合

政策目標 1



6 保育所入所待機児童数

政策目標 1



【国の新定義(2004年)】(手持ち資料)

認可保育所への入所申し込みを行い、入所資格を有するにもかかわらず、保育所の定員を超過するため入所ができない状態にある未入所児童のうち、下記の要件等に該当する児童を除く。

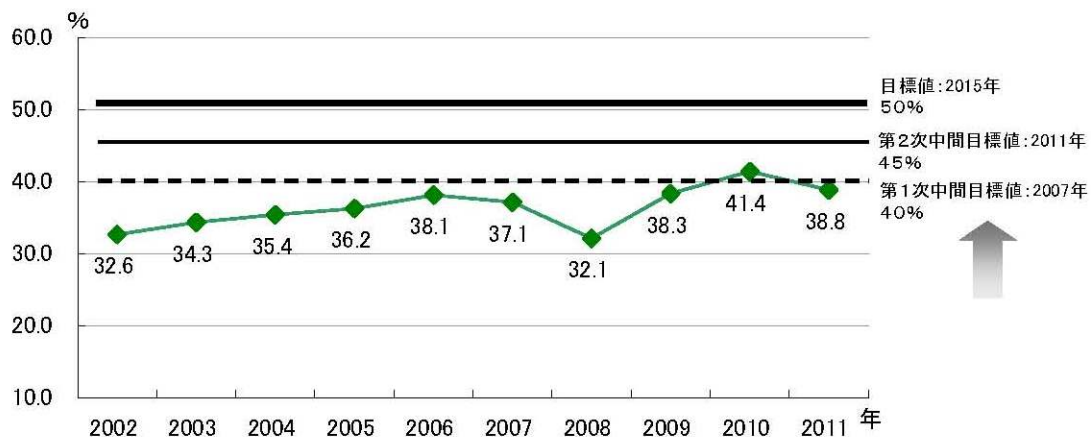
・他に入所可能な保育所があるにもかかわらず、特定の保育所を希望し、保護者の私的な理由により待機している児童

○政策目標 2 個性と創造性に富んだ多彩な人材が育つまちとなる

大学の集積を活かしたまちづくりや文化・スポーツの振興に取り組み、大学のネットワークは充実したが、文化やスポーツ環境への満足度は高くない。

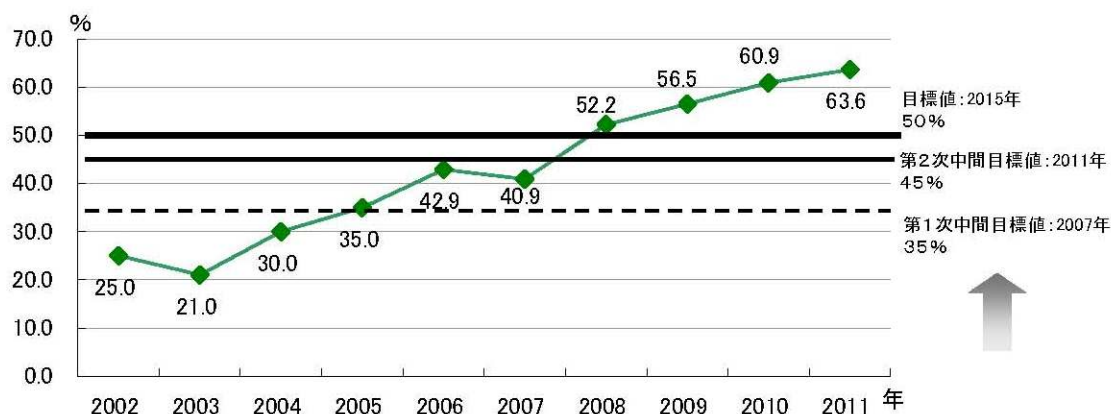
7 学習活動に参加している市民の割合

政策目標 2



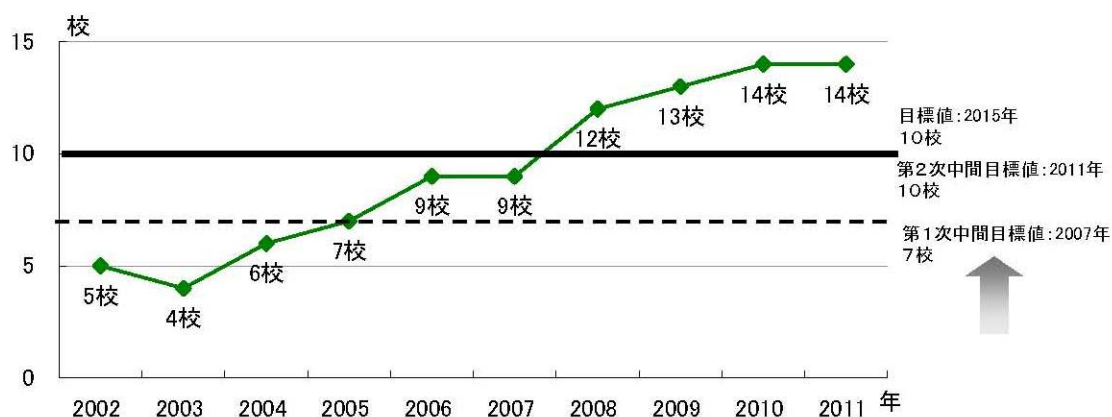
8-1 大学図書館を開放している都市圏大学の割合

政策目標 2



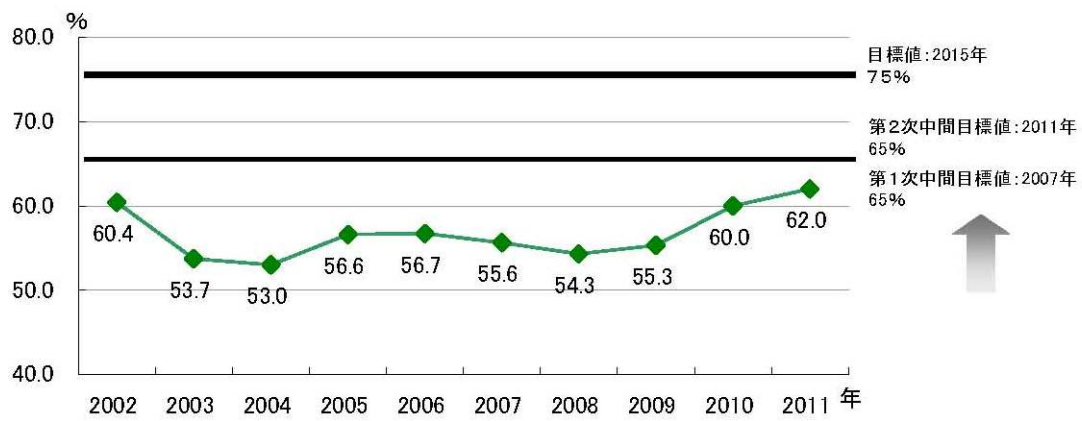
8-2 大学図書館を開放している都市圏大学の割合(実数)

政策目標 2



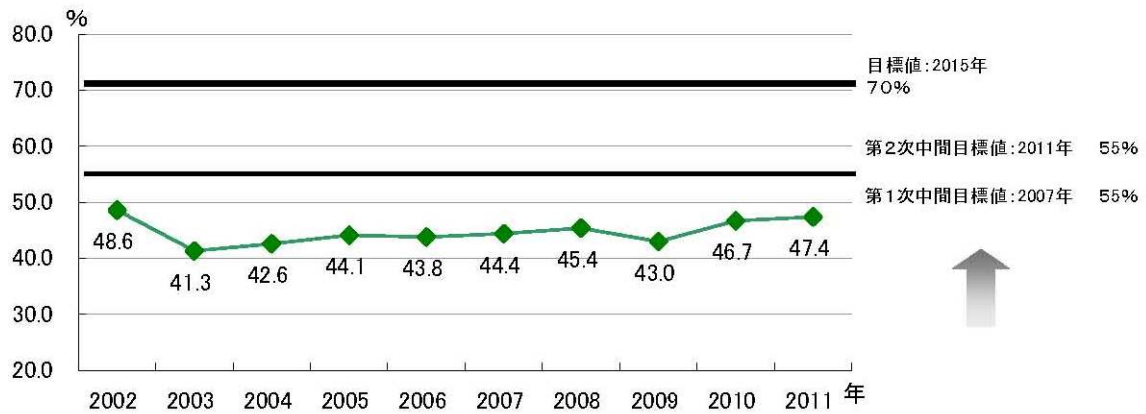
9 文化環境への満足度

政策目標 2



10 身近なスポーツ環境への満足度

政策目標 2

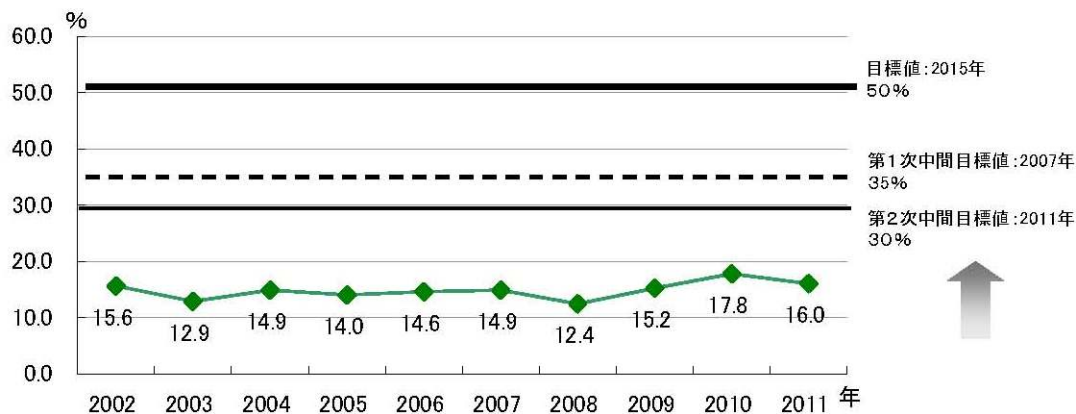


○政策目標 3 地域コミュニティを活性化し、住民自治・地域自治を推進する

コミュニティ活動や NPO 活動の支援に取り組み、自治協議会制度は一定の定着をみせ、NPO と市との共働の仕組みも定着してきている。また、公民館や NPO センターなどの活動の場も整備され、活用されている。

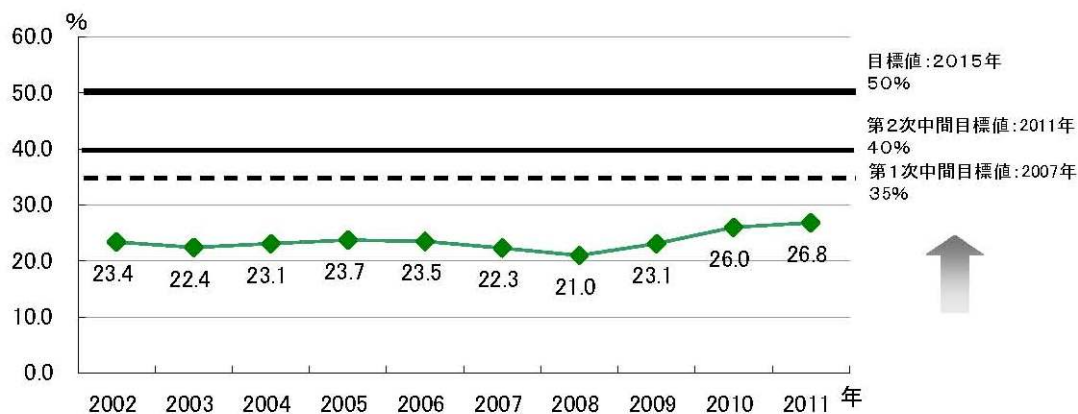
11 ボランティア活動に参加している市民の割合

政策目標 3



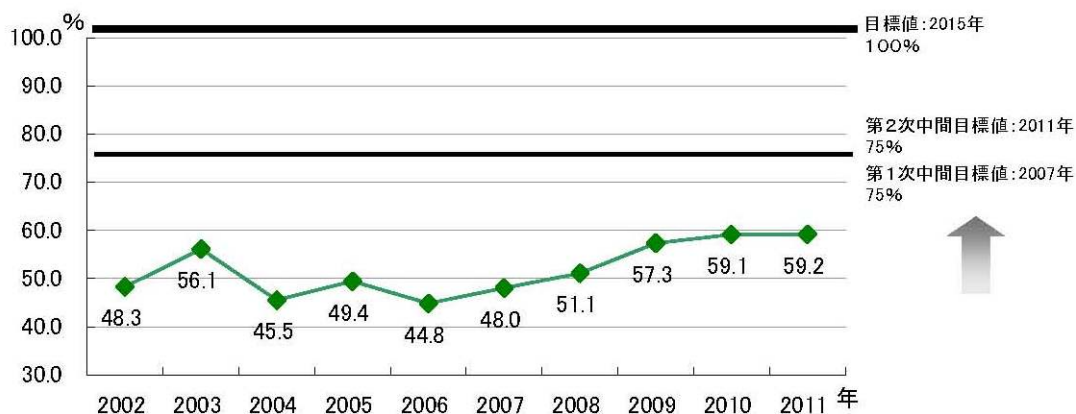
12 公民館を利用した市民の割合

政策目標 3



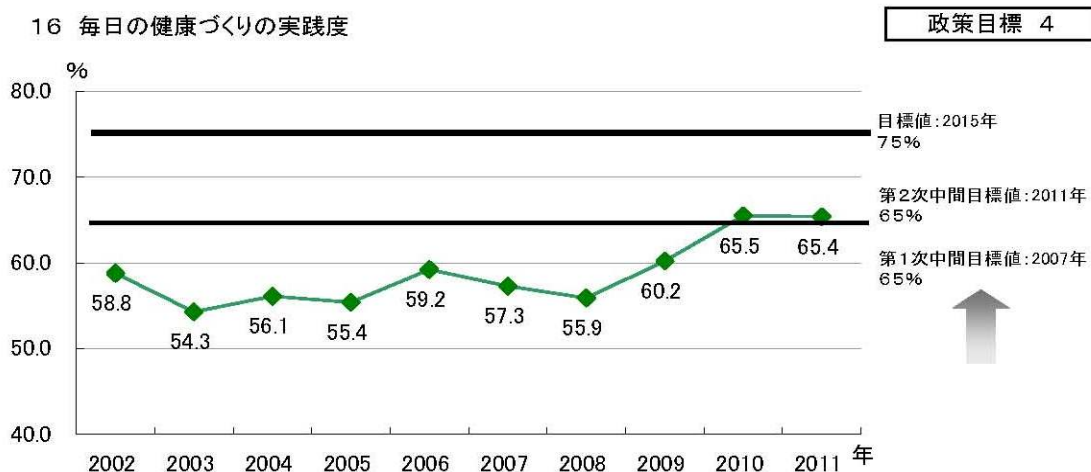
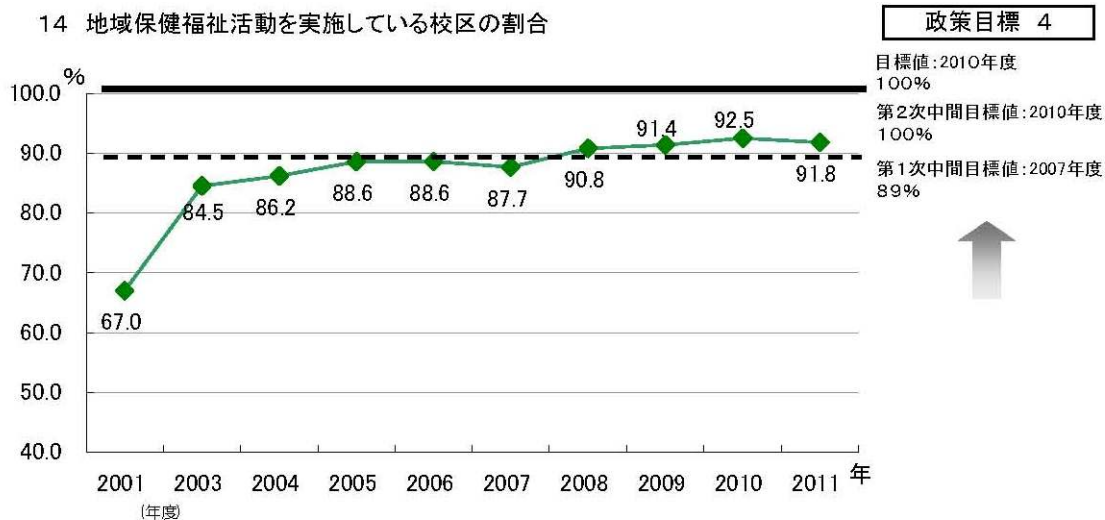
13 空き教室が活用されている学校の割合

政策目標 3



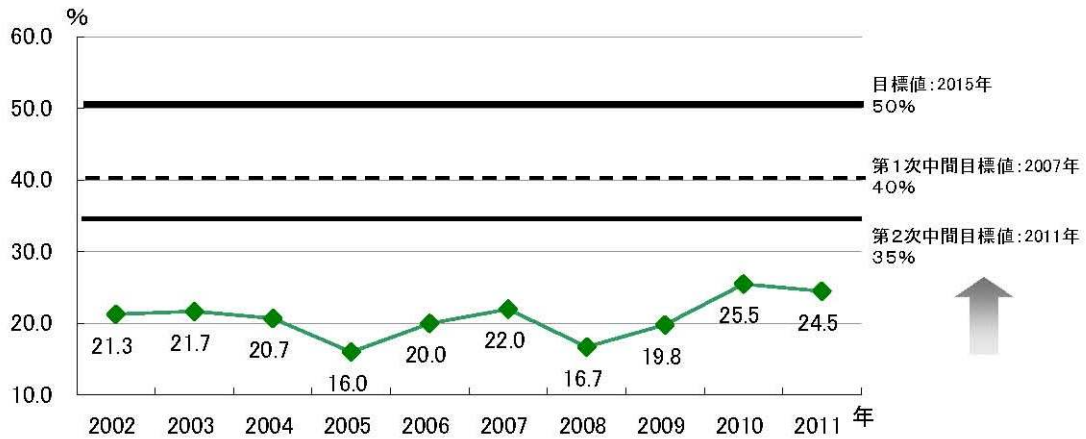
○政策目標 4 支え合い助け合い、生き生きと暮らせる健康・福祉のまちとなる

地域の支え合いの仕組みづくりや健康づくり、介護予防、特別養護老人ホームの整備、障害者の自立支援などに取り組んだ。地域での福祉活動や毎日の健康づくりの実践などの活動が定着してきている。



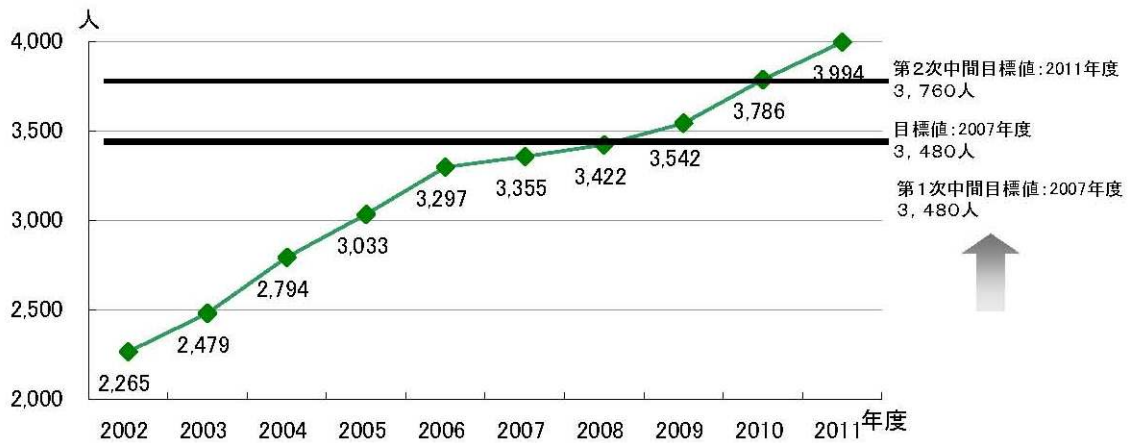
政策目標 4

17 高齢者の活動度



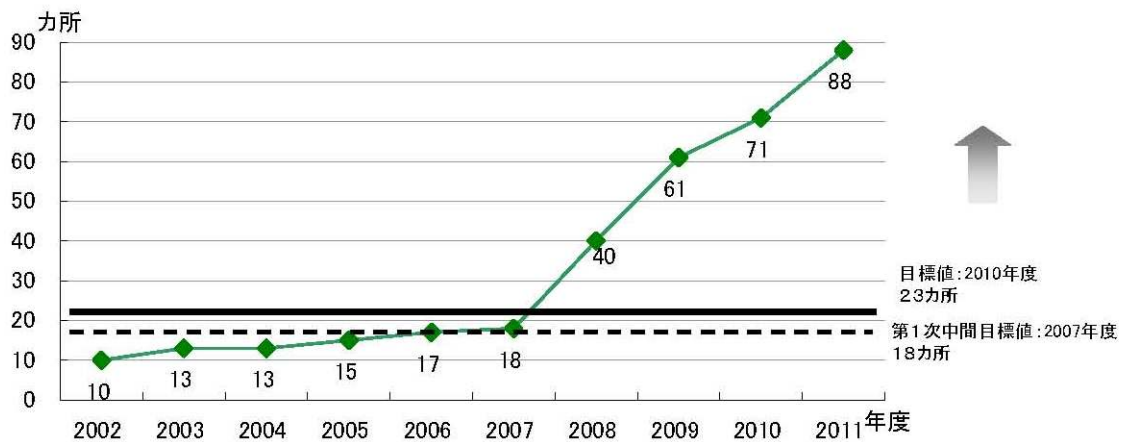
18 特別養護老人ホームの定員

政策目標 4



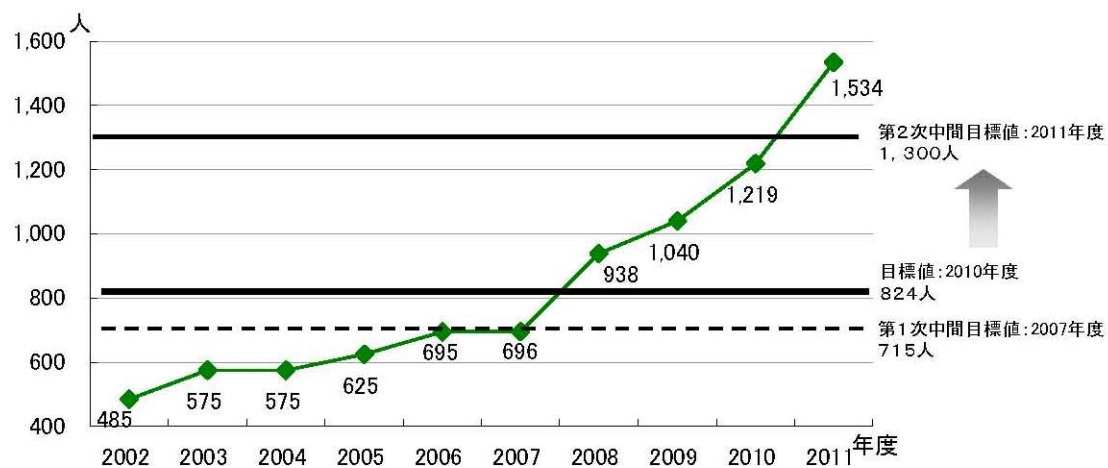
19-1 障がい者通所授産施設・福祉工場の設置箇所

政策目標 4



19-2 障がい者通所授産施設・福祉工場の定員

政策目標 4

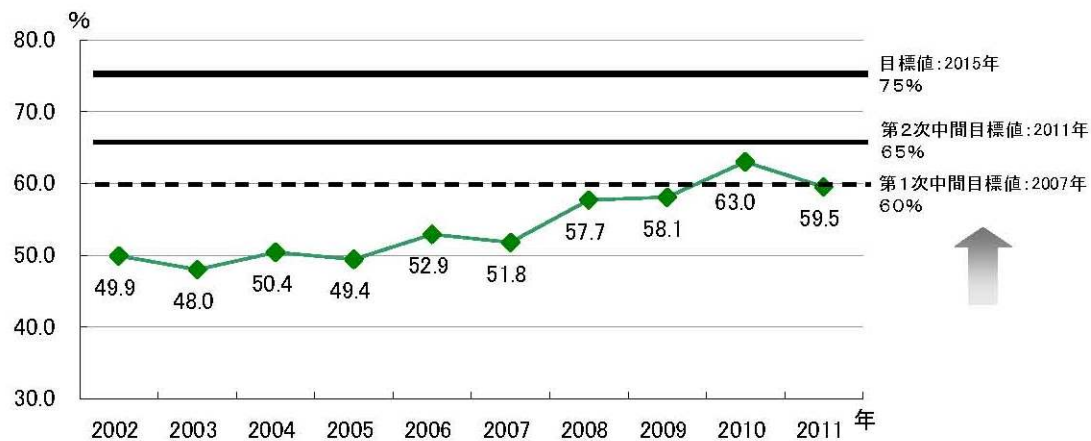


○政策目標 5 災害に強く、安全で安心して暮らせる都市となる

防災・危機管理体制の強化や災害に強い都市基盤づくりに取り組むとともに、犯罪のないまちづくりなどに取り組み、福岡の安全評価やマナー評価は改善してきている。

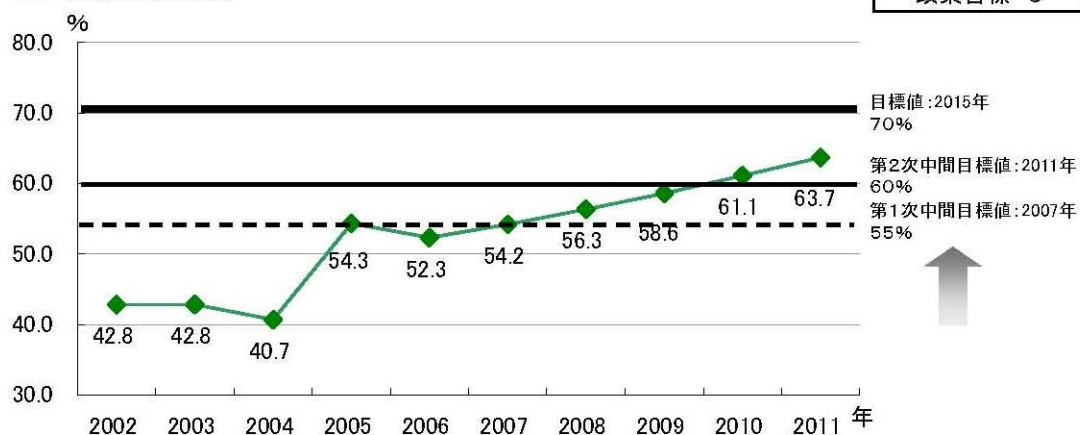
20 福岡の安全評価

政策目標 5



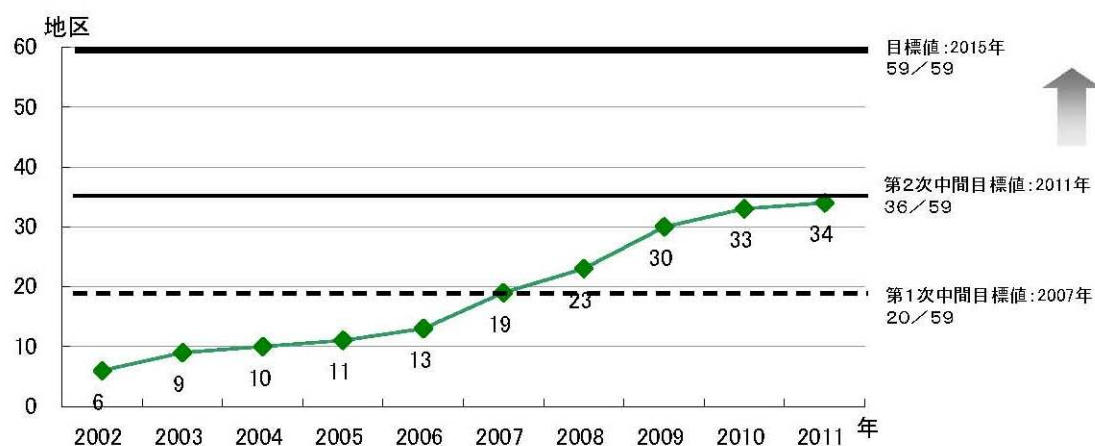
21 避難所の認識度

政策目標 5



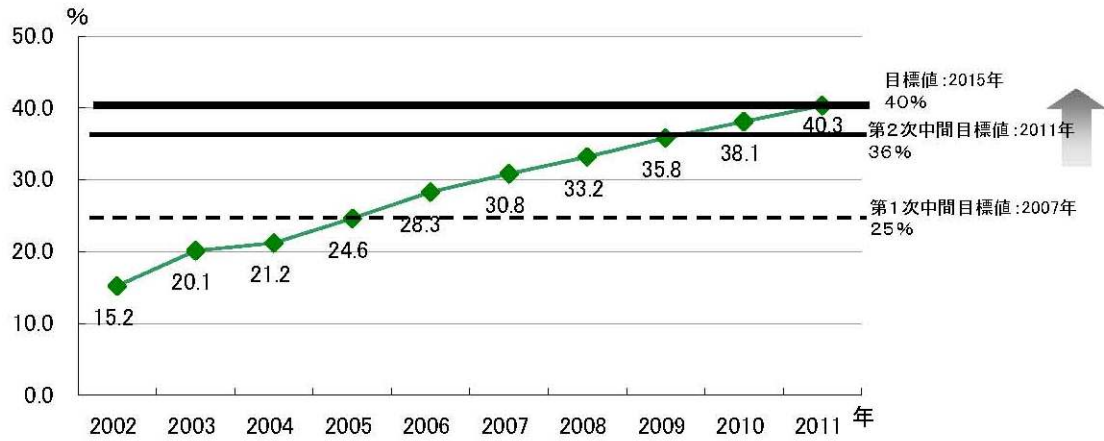
22 浸水対策重点地区(59地区)のうち整備された地区数

政策目標 5



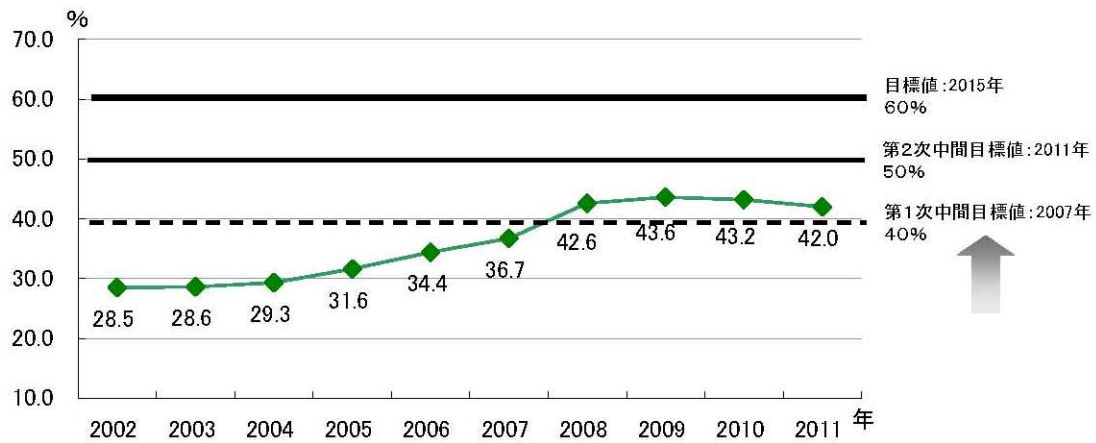
23 応急手当講習の受講率

政策目標 5



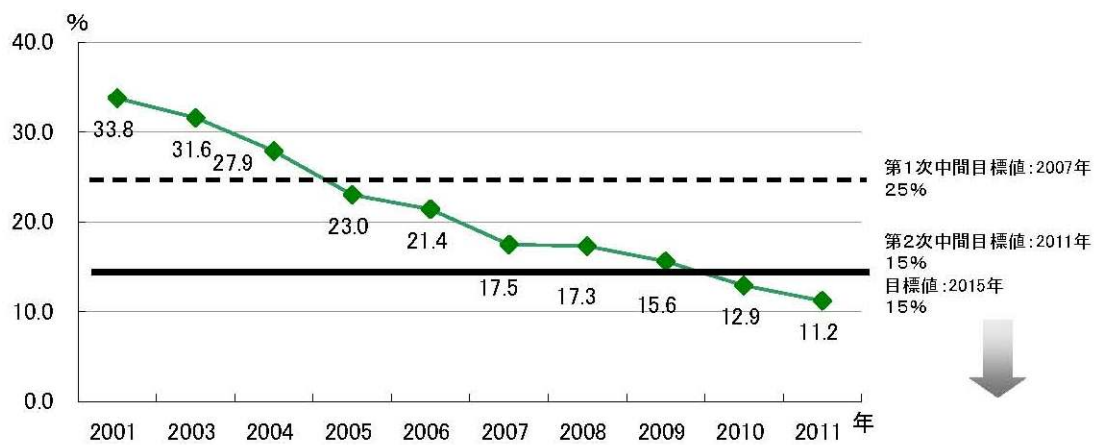
24 市民のマナー評価

政策目標 5



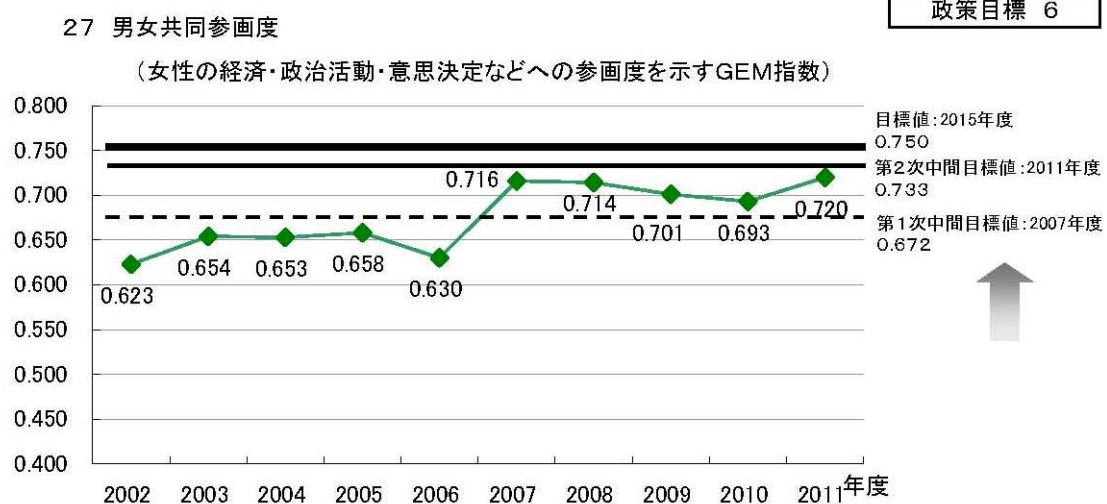
25 自転車放置率

政策目標 5



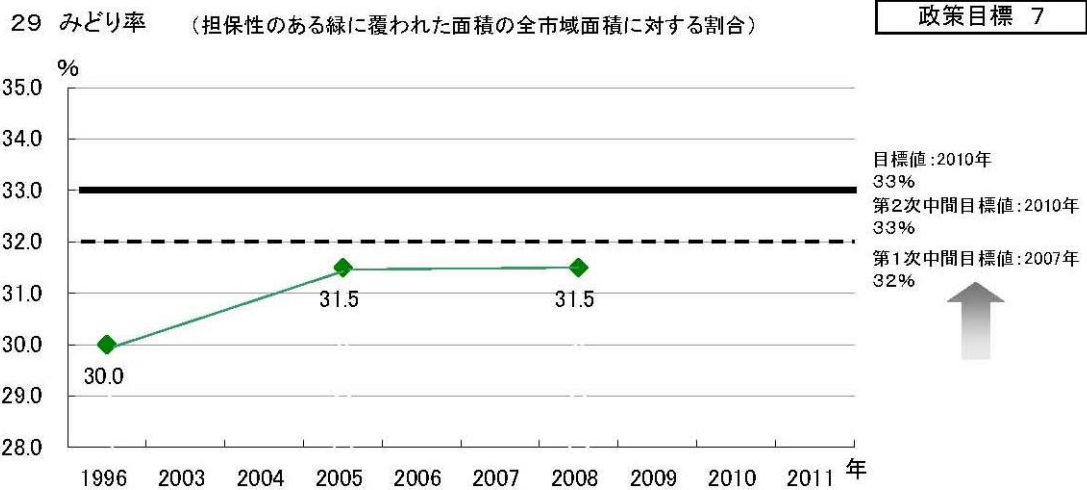
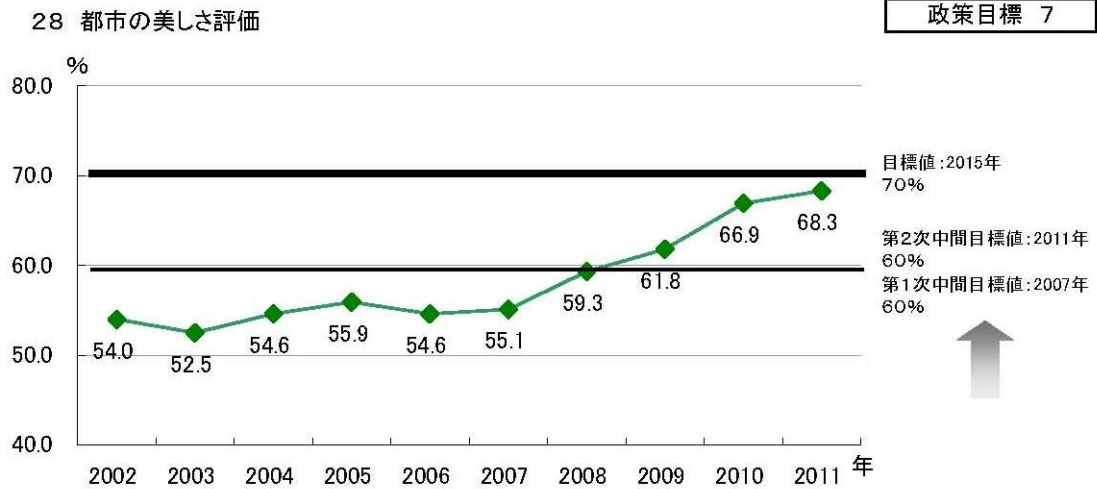
○政策目標 6 人権を尊重し、人の多様性を認め合うまちとなる

すべての人が尊重される社会づくりや男女共同参画社会の実現に取り組み、人権が尊重されていると感じる割合や男女共同参画度は改善してきている



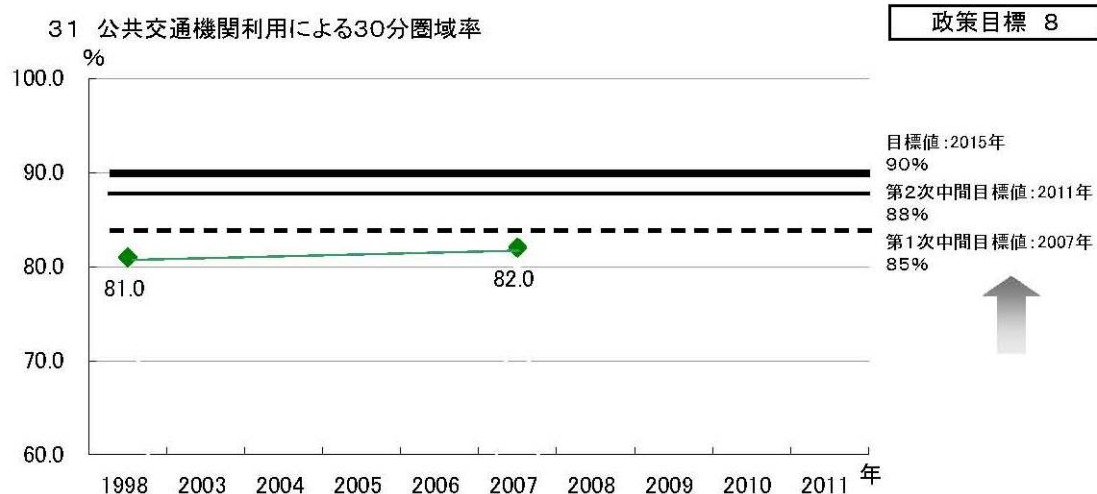
○政策目標 7 「楽・住・職」の融合した美しい都市となる

都心や拠点の機能強化など計画的な市街地整備に取り組むとともに、住民による地域作りの支援を行った。都市の美しさ評価は改善している。



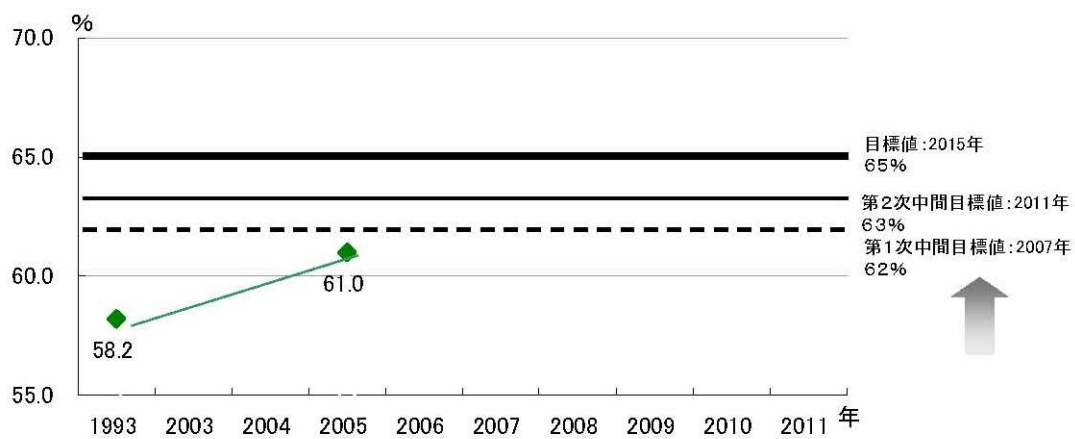
○政策目標 8 水・交通・住環境などの基盤を整備し、快適な生活環境を確保する

総合交通体系の確立や水の安定供給、良好な住環境整備に取り組み、一人あたりの水使用量や住んでいる住宅に満足している世帯の割合は目標を達成し、公共交通機関の利用率等も改善している。



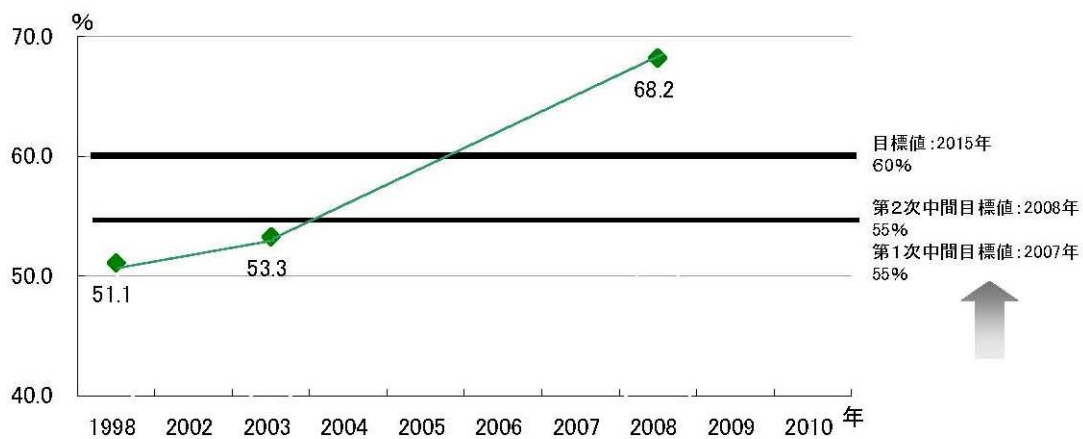
32 都心部への公共交通機関利用率 (都心部は天神1丁目～5丁目)

政策目標 8



33 住んでいる住宅に満足している世帯の割合

政策目標 8

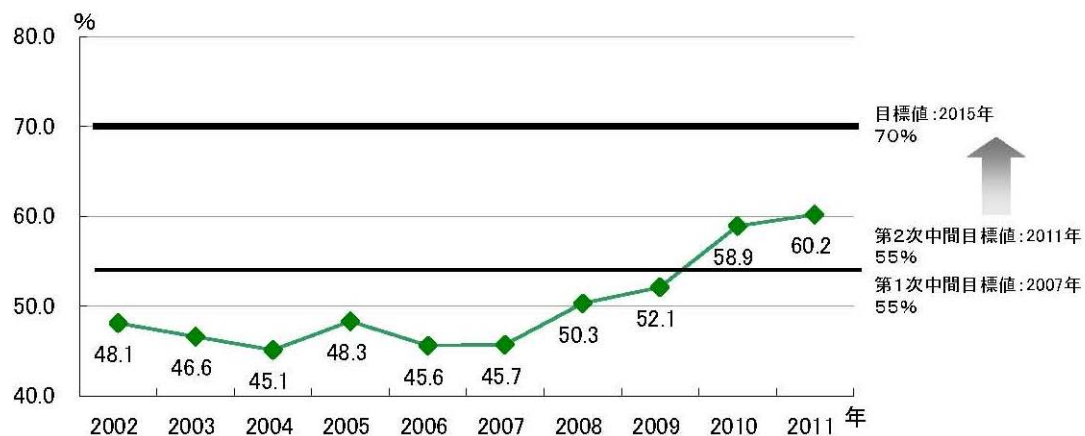


○政策目標 9 博多湾や脊振山系などの自然を大切にし、緑彩る都市となる

博多湾の環境保全や公園の整備、市民との共働による水と緑のまちづくりをすすめ、自然環境への評価や身近な緑への満足度は向上してきている。

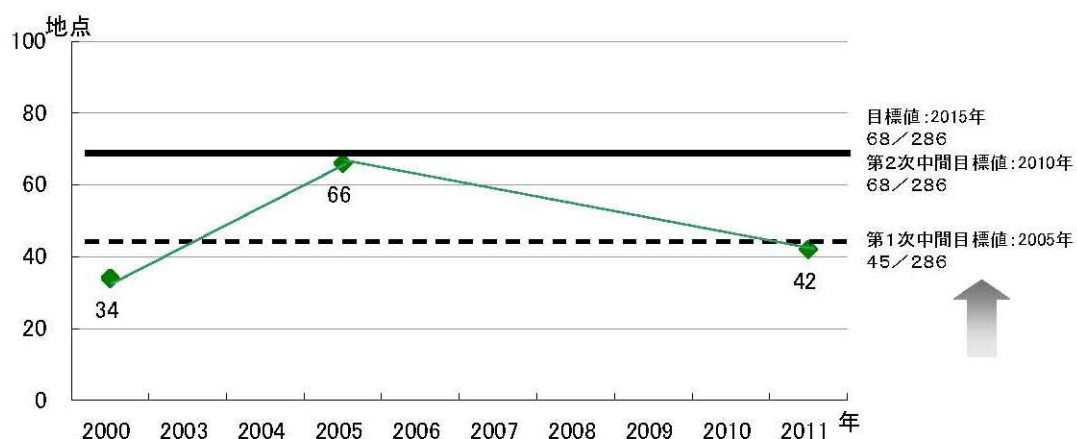
34 自然環境への評価

政策目標 9



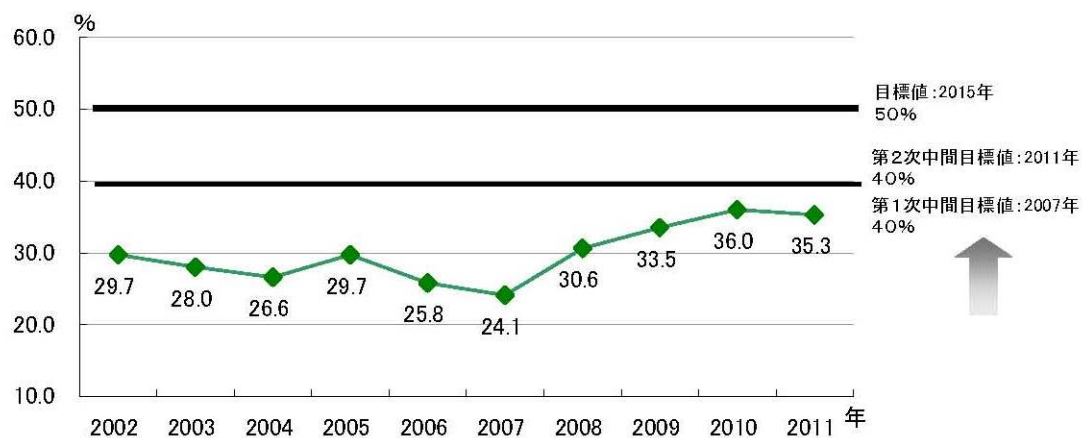
35 河川支流及び水路等の細流におけるメダカ確認地点数

政策目標 9



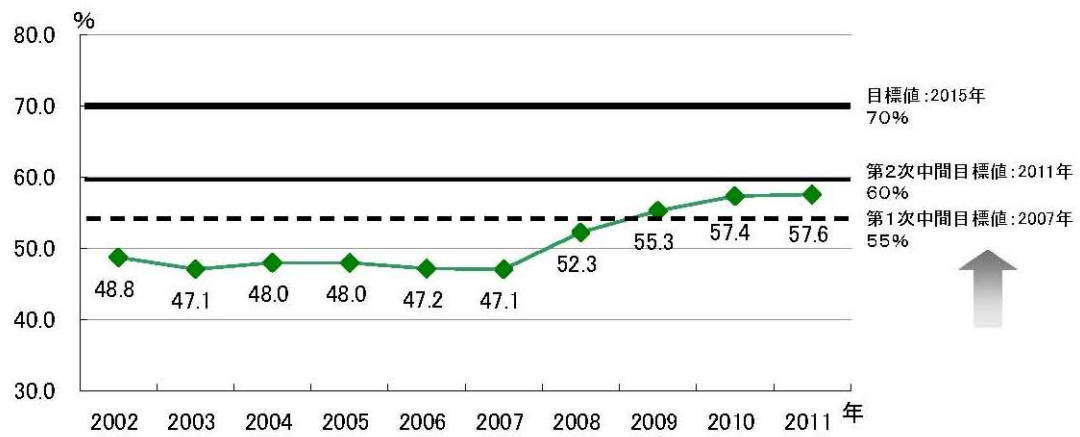
36 身近な緑への満足度

政策目標 9



37 地域の公園の親しみ度

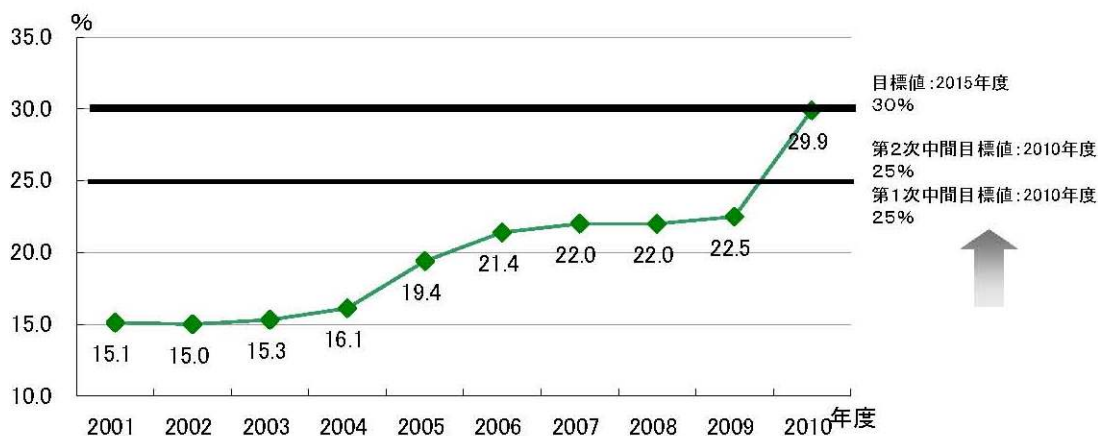
政策目標 9



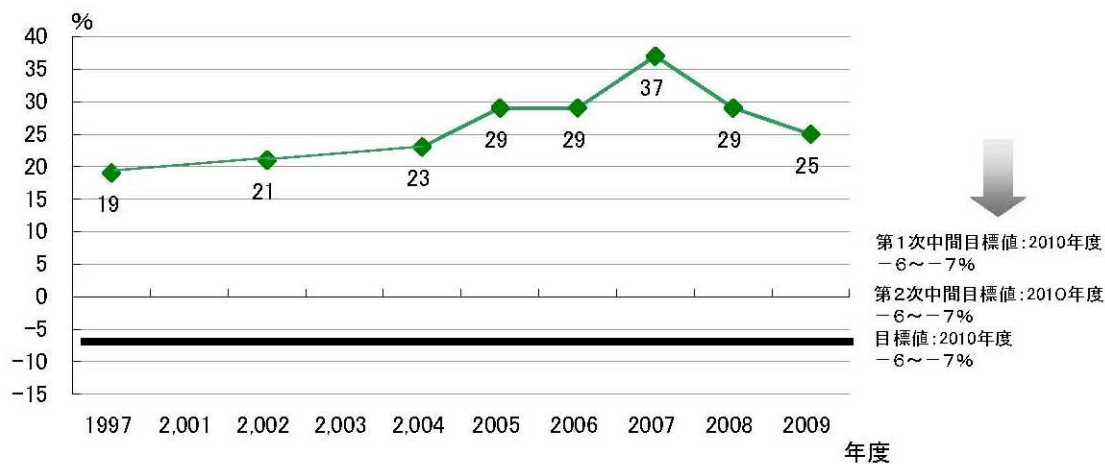
○政策目標 10 ライフスタイルを転換し、環境と共生する都市となる

地球温暖化対策の推進と循環型社会の構築に取り組むとともに、市民の主体的な環境問題への取り組みの支援を行った。ごみ減量・リサイクル率や省エネ・省資源行動は改善しているが、温室効果ガス排出量は悪化している。

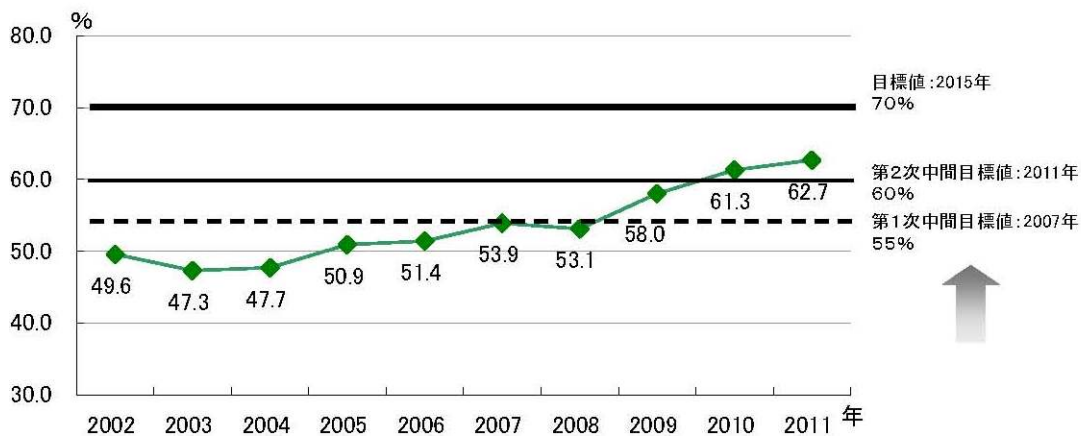
38 ごみ減量・リサイクル率



39 温室効果ガス総排出量

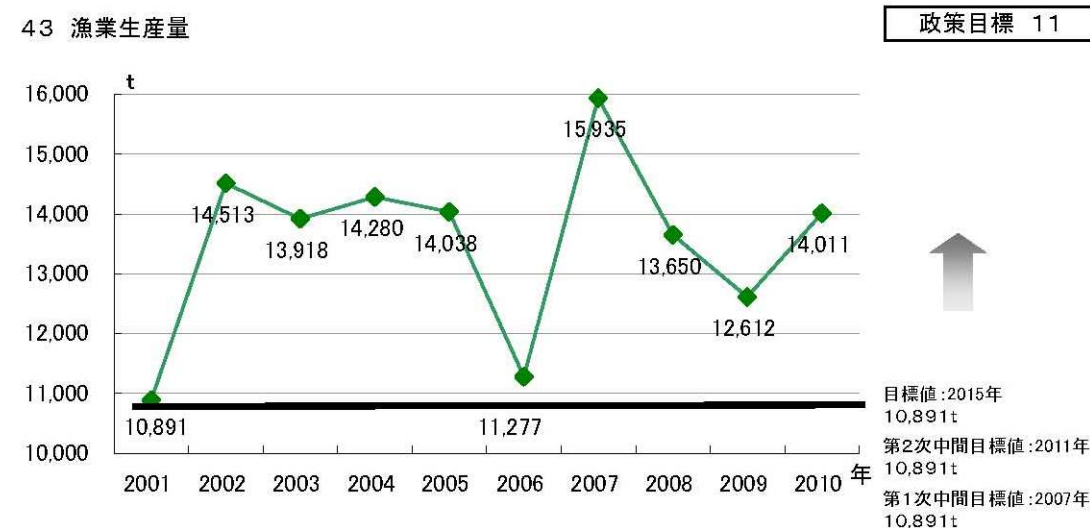
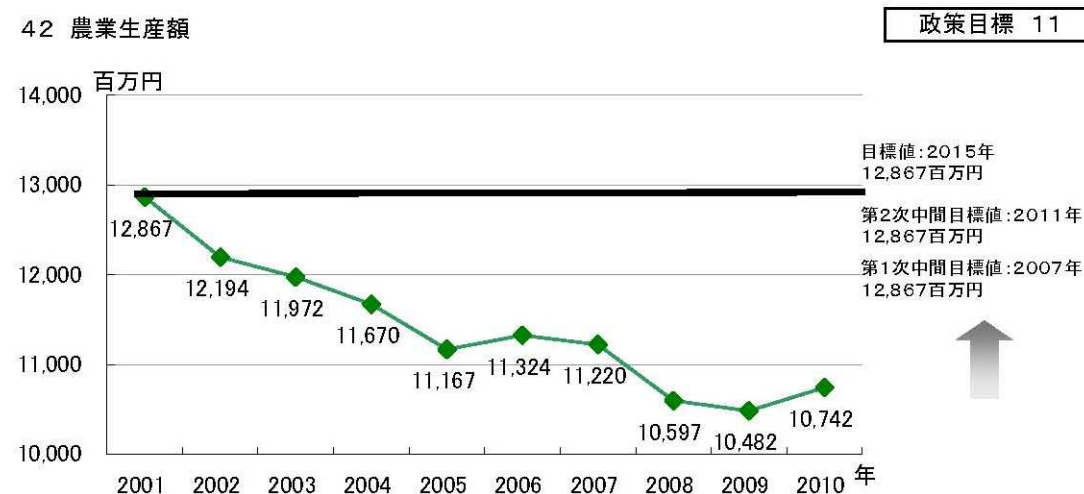
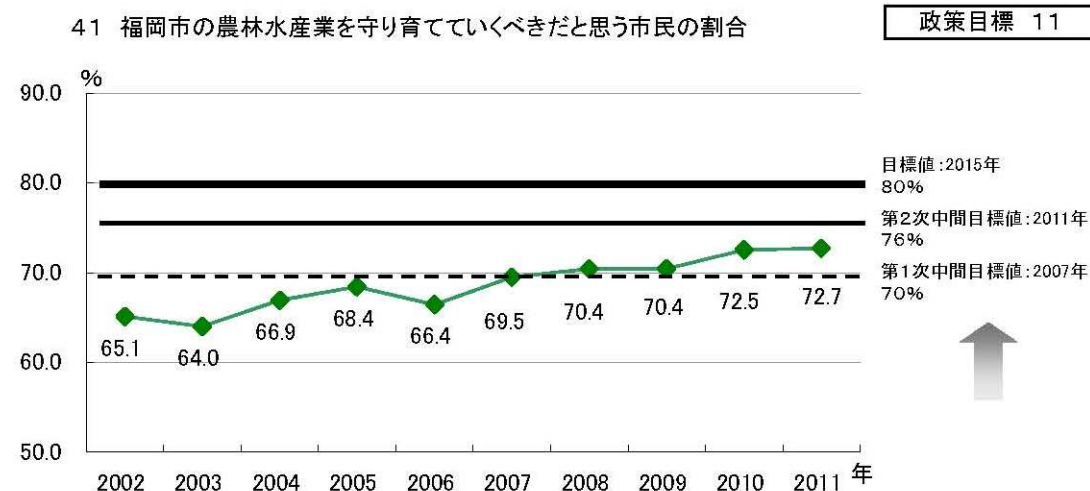


40 市民の省エネ・省資源行動指標



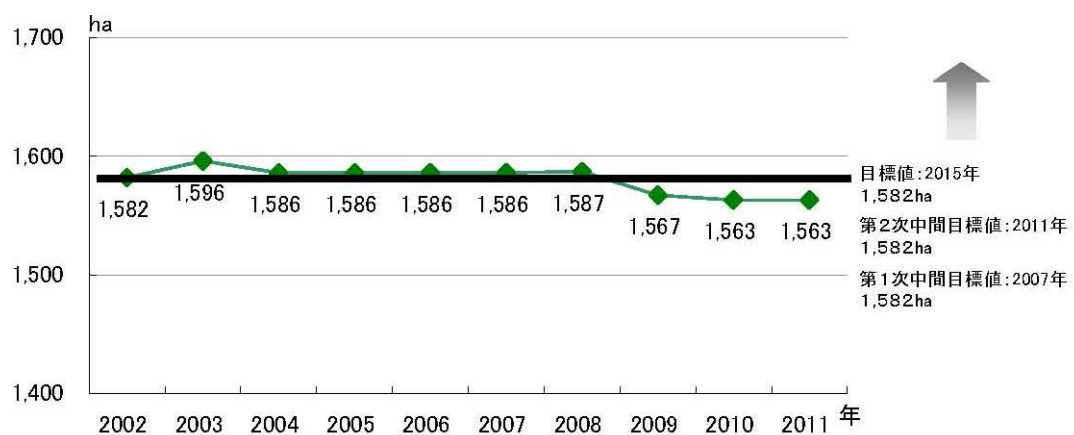
○政策目標 11 福岡の魅力と環境を支える農林水産業を振興する

農林水産業の振興と農林水産業の多面的機能の発揮、農山漁村地域の振興などに取り組んできた。漁業生産量は目標である現状維持を達成しているが、農業生産額や農地面積、森林面積は悪化している。



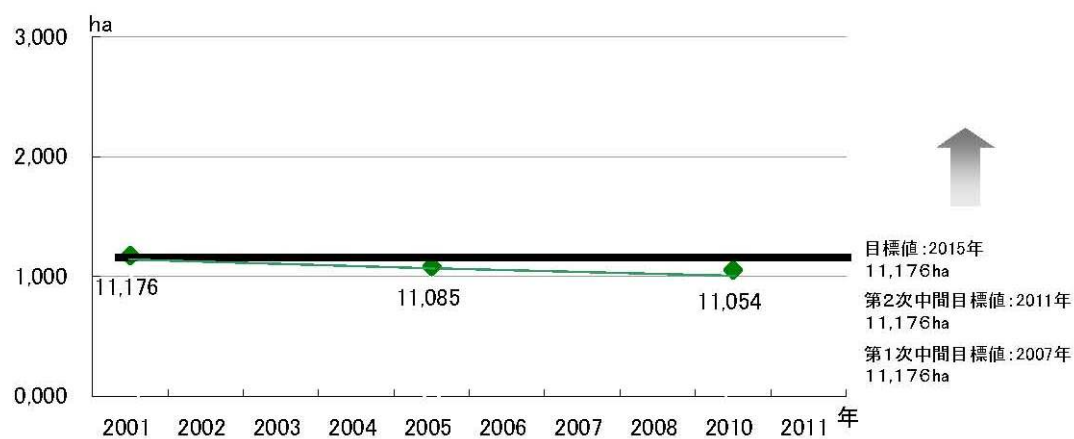
4.4 農地面積(農業振興地域の農用地区域内)

政策目標 11



4.5 森林面積

政策目標 11

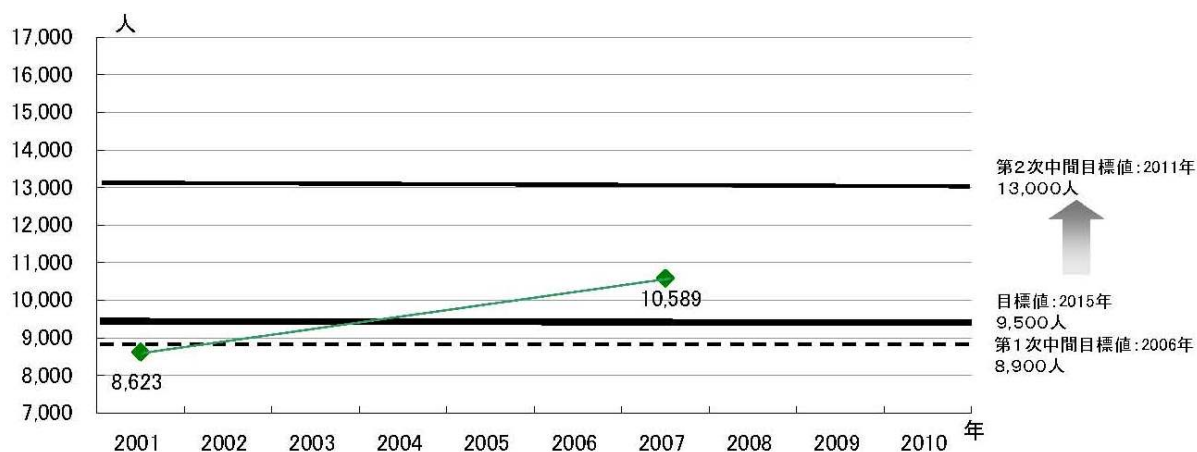


○政策目標 12 福岡の知性と感性を活かし、知識創造都市となる

九州大学学術研究都市構想の推進や、情報産業の集積促進、コンテンツ産業の振興などに取り組んだ。大学・研究機関の従業者や情報通信業の従業者は増加しているが、デザイン業の従業者は減少している。

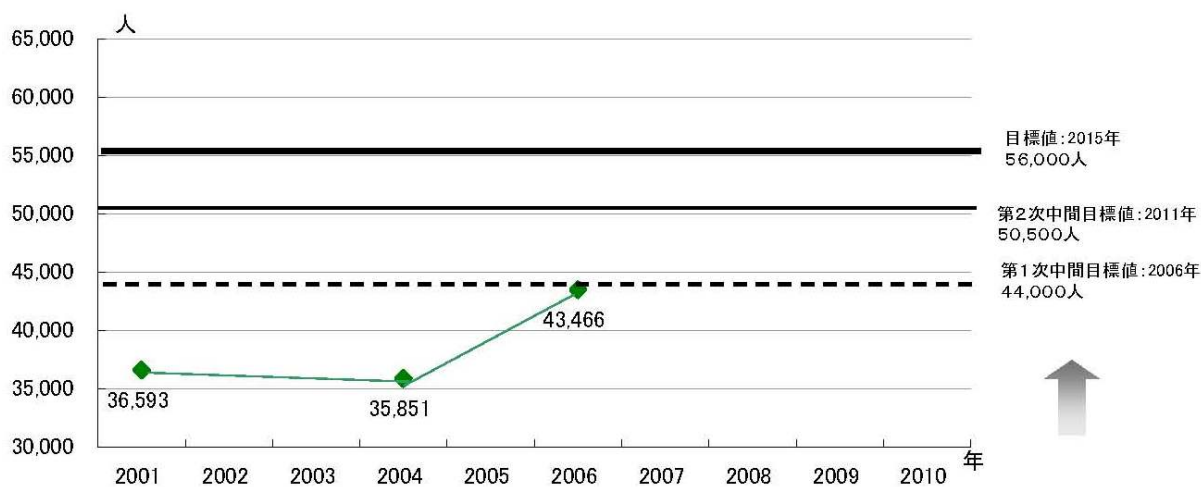
46 大学・研究機関等の従業者数

政策目標 12



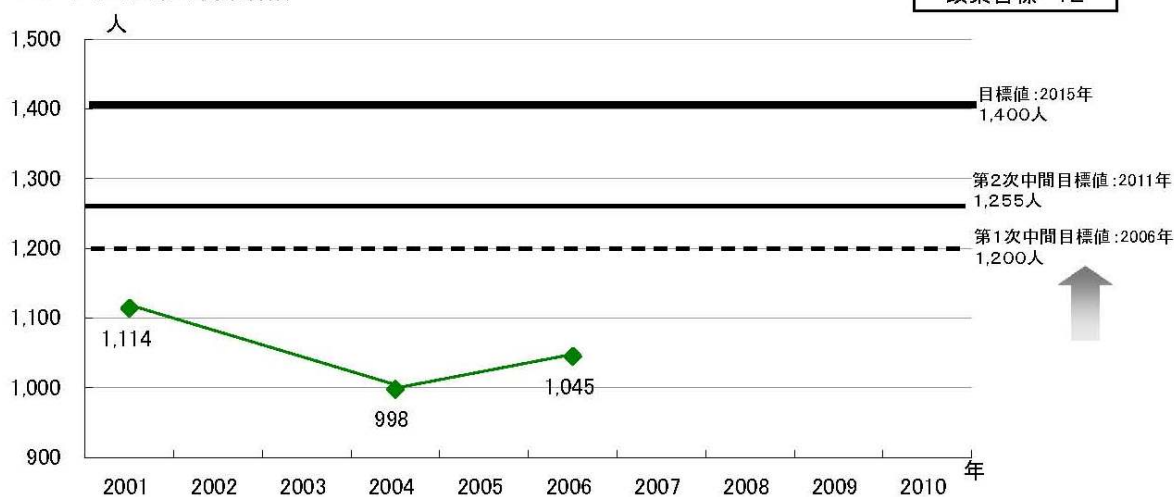
47 情報通信業の従業者数

政策目標 12



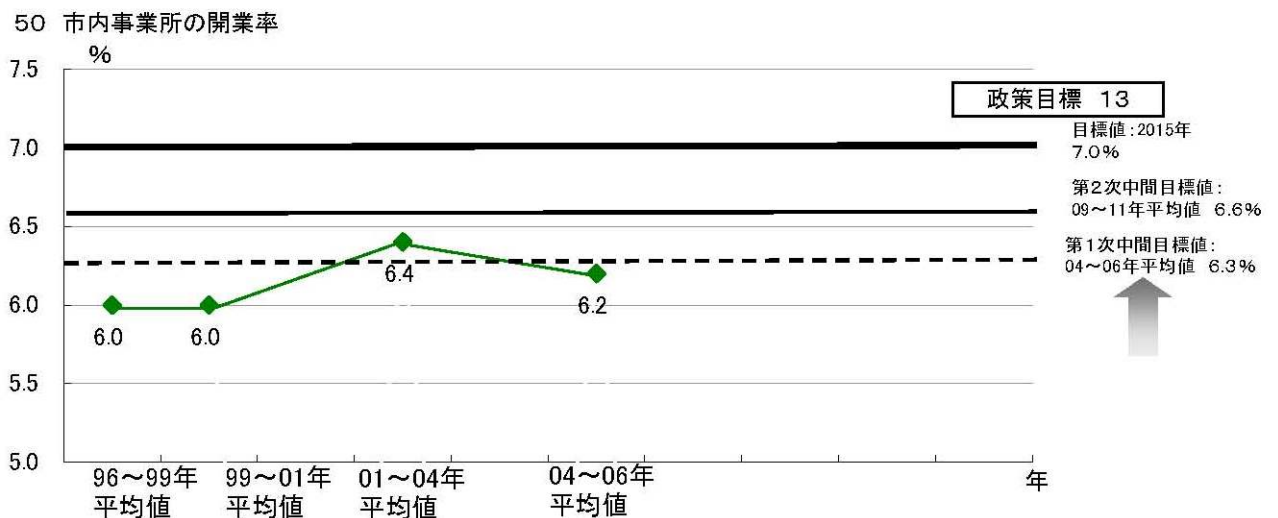
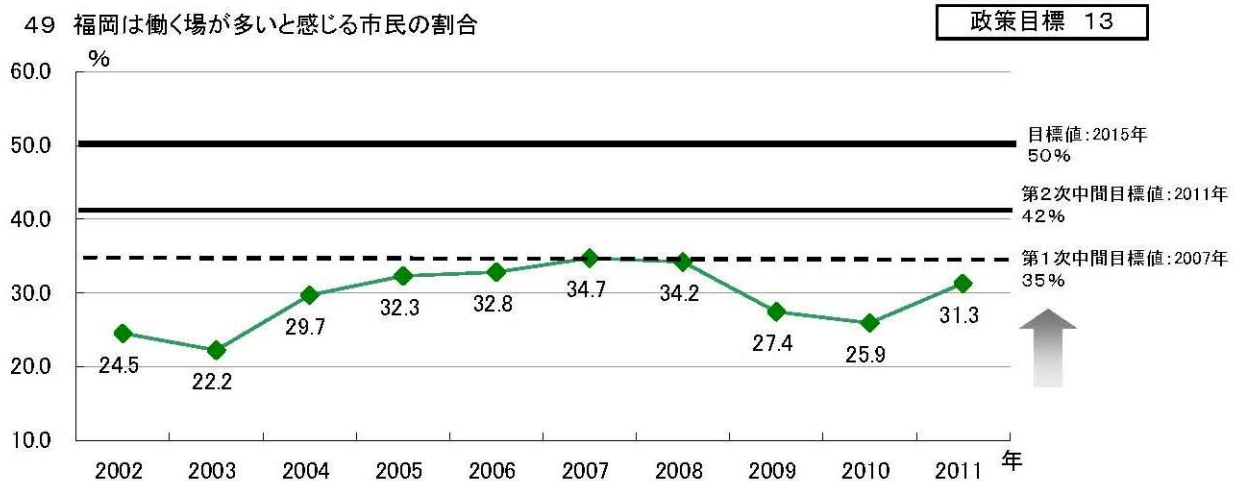
48 デザイン業の従業者数

政策目標 12



○政策目標 13 起業・創業や企業立地を促進し、多様な雇用の場を創造する

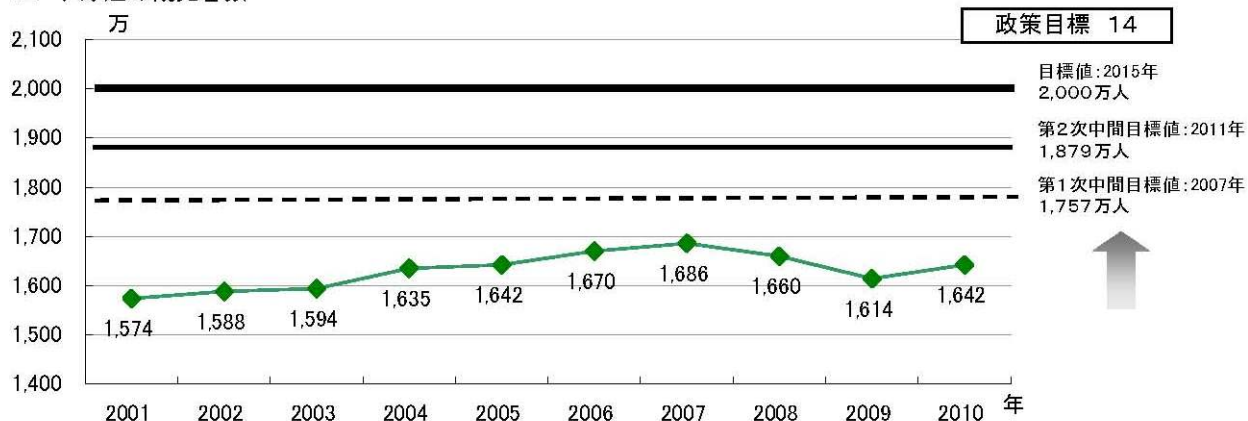
中小企業の競争力の強化と経営基盤の充実に取り組むとともに、起業・創業の支援や企業立地に取り組んだ。働く場が多いと感じる市民の割合と市内事業所の開業率は、わずかの改善にとどまっている。



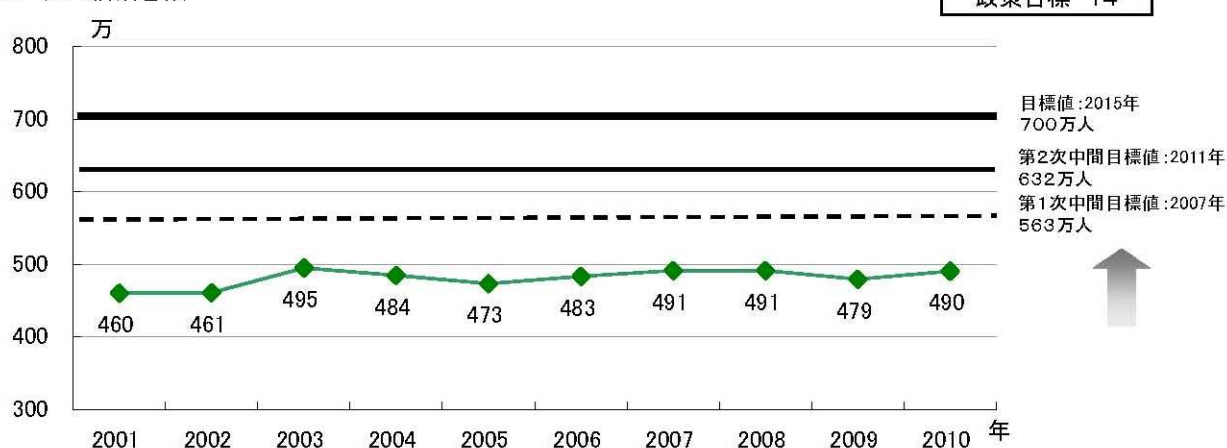
○政策目標 14 おもてなしの心に満ちた国際集客文化都市となる～ビジターズ・インダストリー（集客産業）の振興～

新しい集客資源の開発や情報発信、コンベンションの誘致・支援に取り組んだ。コンベンション開催件数は伸びているが、入り込み観光客や延べ宿泊者数は微増にとどまっている。

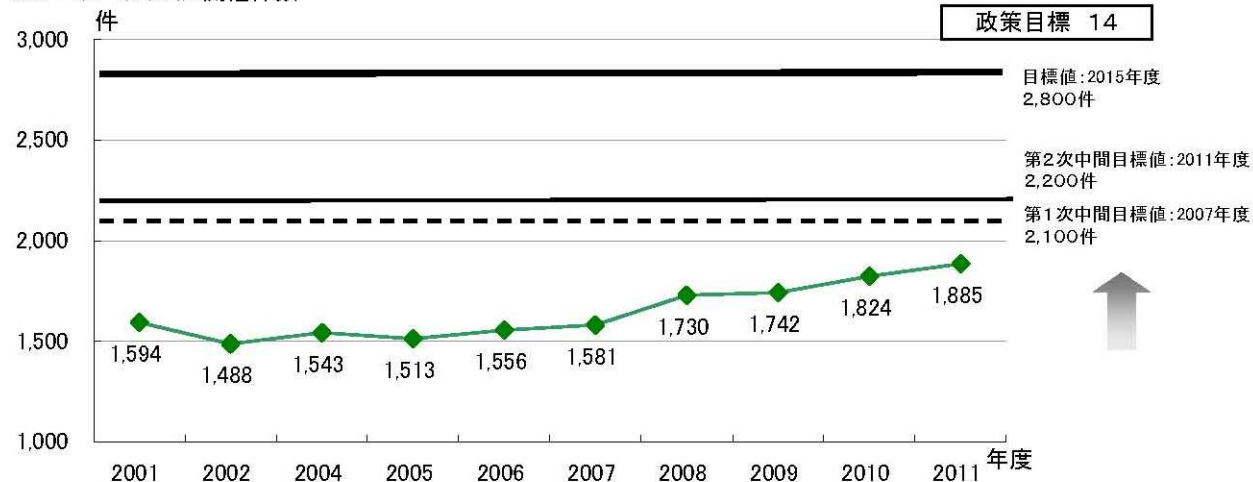
51 入り込み観光客数



52 延べ宿泊客数



53 コンベンション開催件数

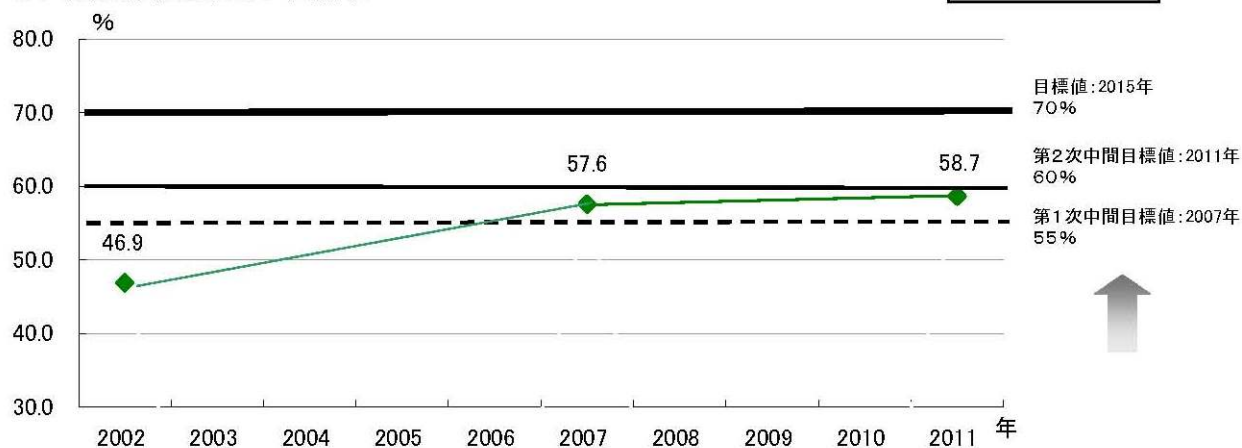


○政策目標 15 協力と競争を通じてアジアの交流拠点都市をめざす

在住外国人の生活環境整備やアジアにおける学術・文化・人材育成の拠点づくり、地域経済の国際化に取り組んだ。外国人の住みやすさ評価や在留外国人の数、貿易額など、いずれも伸びている。

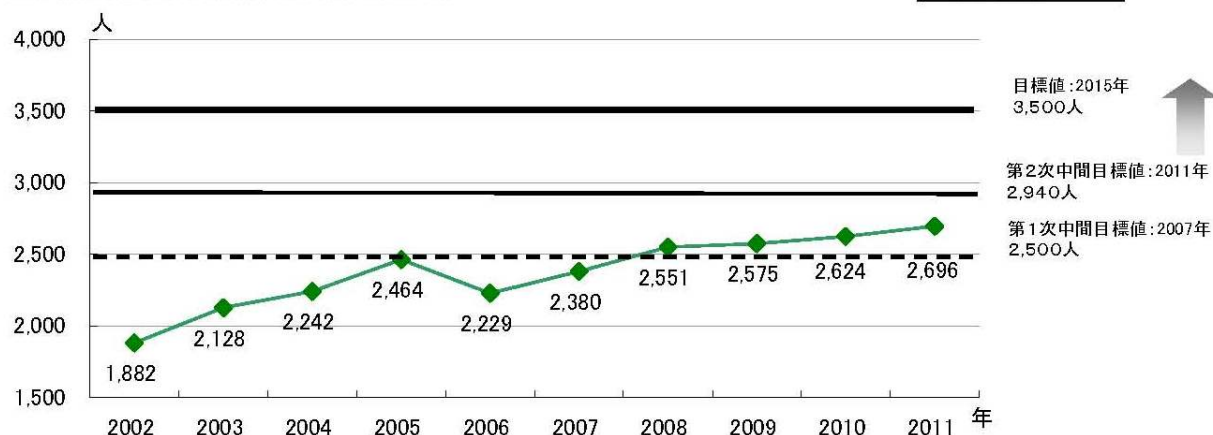
54 在住外国人の住みやすさ評価

政策目標 15



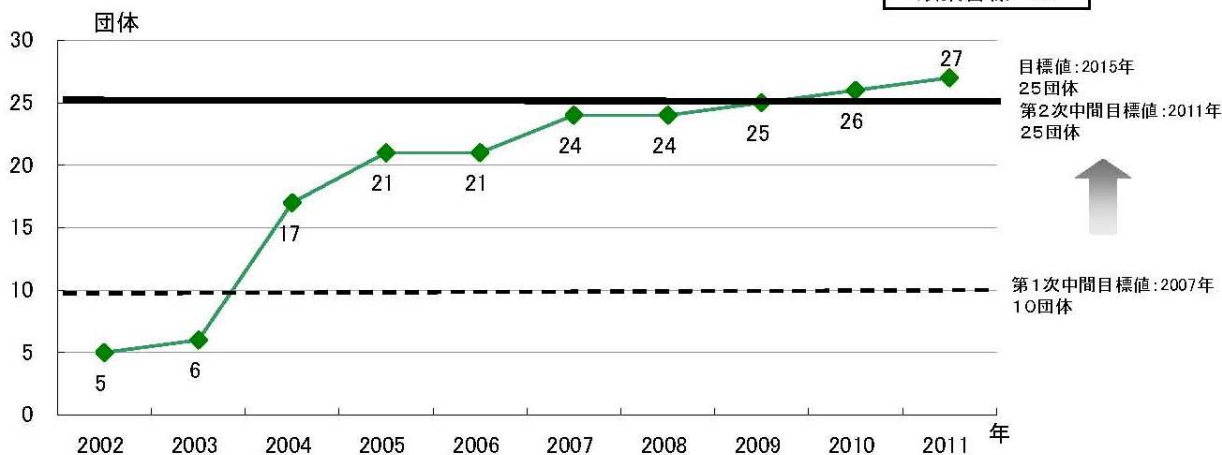
55 就労活動の在留資格を持つ外国人の数

政策目標 15



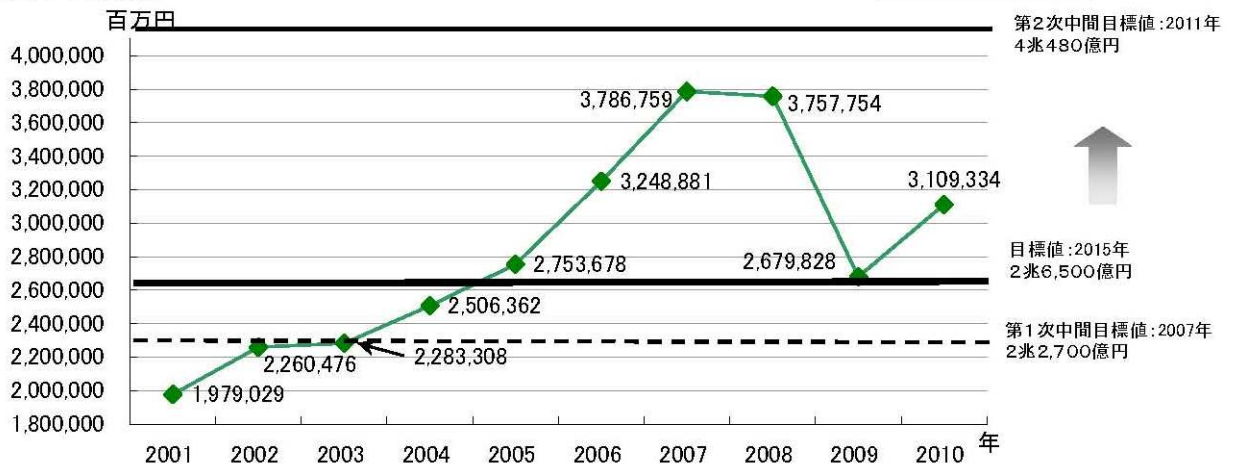
56 法人化した国際協力NGO団体数

政策目標 15



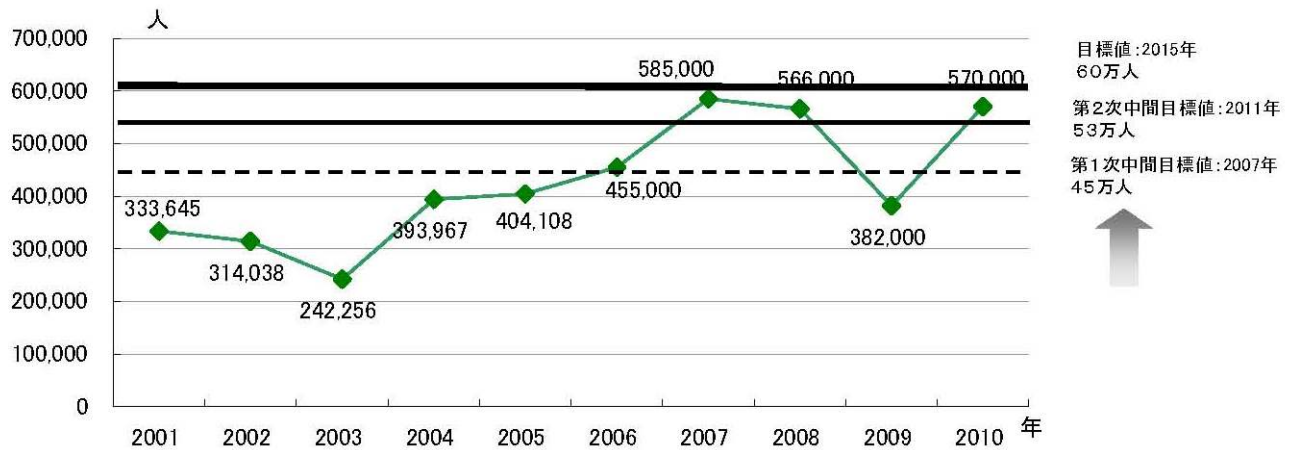
57 福岡市の貿易額

政策目標 15



58 外国人延べ宿泊客数

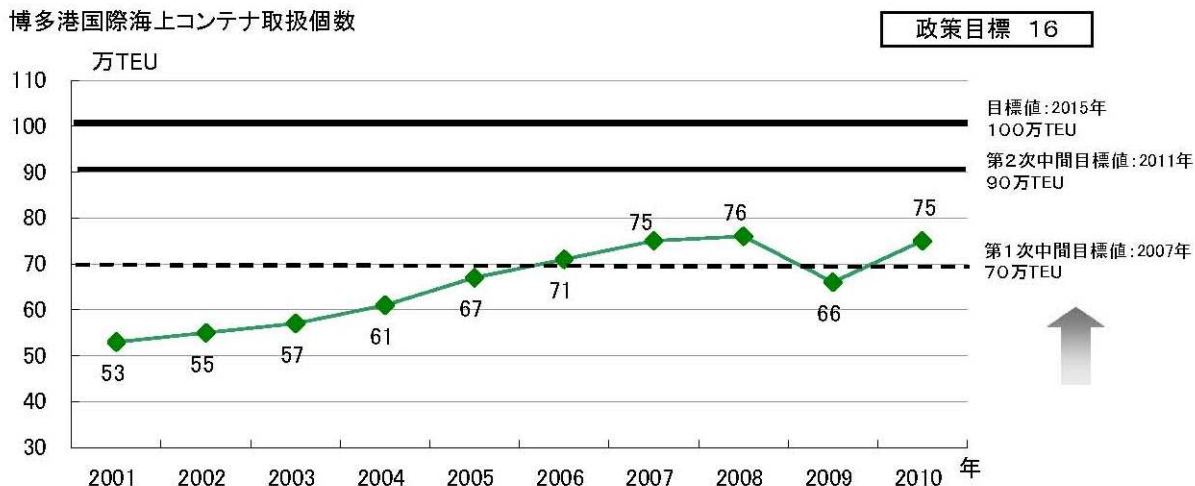
政策目標 15



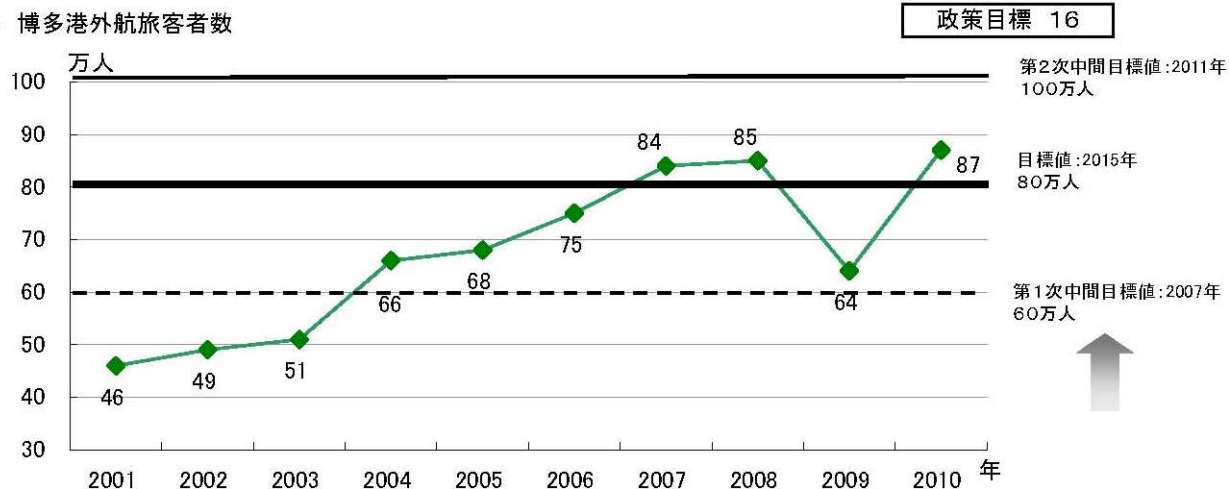
○政策目標 16 福岡・九州とアジア・世界を結ぶゲートウェイを形成する

空港、港湾機能の強化を行い、博多港の国際海上コンテナ取扱個数、博多港外港旅客数ともに伸びている。

59 博多港国際海上コンテナ取扱個数



60 博多港外航旅客者数



○政策目標 17 先進的モデル都市・アイランドシティを創造する

アイランドシティにおいて、高質な居住環境の整備、新しい産業集積拠点の形成、環境共生都市づくりに取り組み、新たなまちづくりが進展している。

○政策目標 18 福岡都市圏や九州各地域との広域的連携を強化する

福岡都市圏自治体との一体的な取り組みをすすめるとともに、水源地域対策や九州各都市との連携を強化した。

<総括>

- 恵まれた自然環境や豊かな食文化などに加え、道路や地下鉄などの都市基盤や文化施設などの生活基盤の充実、都市機能の集積などにより、国内外から評価される住みやすい都市となっている。
- 一方で、福岡市の都市環境について不満な点としては、犯罪の多さ、市民のマナーの悪さ、就業機会の少なさが上位を占めている（H23年度「市政に関する意識調査」）。
- 他の都市に先がけてアジア施策を打ち出し、アジアの交流拠点として一定の評価を得ており、ビジネスやアジアへの貢献など、次の展開が求められている。

●子ども・福祉・市民活動

- ・子育てに関する満足度は上がってきているが、子育て世代の転入の増加や共働き家庭の増加などにより保育所の待機児童は増え続けている
- ・老年人口が増え続ける中、高齢者の活動度はあまり改善していない
- ・スポーツ環境への満足度は高くない

●コミュニティ、NPO、ボランティア

- ・自治協議会制度については定着してきたが、地域コミュニティの希薄化や担い手不足・固定化が課題となっている
- ・ボランティア活動に参加している市民の割合はあまり改善していない

●生活基盤・安全安心

- ・公共交通基盤や生活基盤はある程度整ってきた
- ・安全やマナーについての評価は改善しているが、十分に高くはない

●都市・環境

- ・緑や自然環境、住環境への評価が高まるなど、美しいまちづくりはすすんできた
- ・省エネルギーやリサイクルはすすんできた
- ・温室効果ガス排出量削減への取り組みは不十分

●観光・集客

- ・集客資源が十分活用されておらず、観光客数や宿泊者数が伸びていない

●文化・創造産業

- ・文化施設等は一定程度整ってきたが、文化環境への満足度は高くない
- ・情報産業については一定の集積がすすんだ
- ・IT化がすすむ中、デザイン産業の従事者は減少傾向

●産業・雇用

- ・市内総生産は横ばいで雇用情勢も厳しい
- ・農林水産業は現状の生産額等が維持できていない

●アジアとの関係・活力拠点づくり

- ・人流・物流ともに、アジアとのゲートウェイ機能は充実してきた
- ・国際化は進み外国人の数も増えているが、他都市と比べ国際ビジネス機能は不十分
- ・アイランドシティについては一定のまちづくりがすすんできた